



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和7年10月3日(金) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
環境生活政策課	生物多様性企画監	江崎	内線 2920 直通 058-272-8231 FAX 058-278-2605

令和7年度 堅果（ドングリ）類の豊凶予測調査結果 及びクマ出没への影響について ～県内全域でクマ出没への注意が必要です！～

岐阜県内に生息するツキノワグマ（以下「クマ」という。）は、例年9月から10月にかけて人里周辺での出没が増加する傾向にあり、特に、秋季のクマの主な餌であるブナ、ミズナラ、コナラの堅果（ドングリ）類の豊凶がクマの出没に影響を与えるとされています。

このたび、堅果類の豊凶予測調査を実施しましたので、下記のとおり結果をお知らせします。

なお、調査結果は県公式ホームページへ掲載するとともに、市町村との情報共有・注意喚起を行います。

記

1 豊凶予測調査の結果（県内全域の平均。地域ごとの調査結果等詳細は別紙参照）

ブナ 凶作（凶作～大凶作までばらつき有り）

ミズナラ 凶作（凶作～並作までばらつき有り）

コナラ 並作（凶作～大豊作までばらつき有り）

※作柄は、大凶作、凶作、並作、豊作、大豊作の5段階区分

2 クマ出没への影響（地域ごとの調査結果は別紙参照）

県内全域（特に飛騨地域）において注意が必要

※ 県内全域に「岐阜県ツキノワグマ出没注意情報」を発令中です。

※ 飛騨地域では、凶作～大凶作となっており、クマの出没に特に注意が必要です。

3 クマの被害にあわないための対応策

(1) 野山でクマと出会わないために

- ・鈴やラジオなど音のするものを身につけ、人間の存在を知らせましょう。
- ・単独行動は避け、2人以上で行動しましょう。
- ・新しい糞や足跡を見つけたときは、すぐに引き返しましょう。
- ・山へ入ったとき、残飯は必ず持ち帰りましょう（クマに味を覚えさせないため）。

(2) もしクマに出会ってしまったら

- ・クマがこちらに気付いていない場合
→速やかにその場から離れてください。
- ・クマがこちらに気付いた場合
→背中を見せずにそのままゆっくりと後ずさりしながらクマから離れてください。
- ・クマから攻撃を受けそうになった場合
→腕や荷物などで急所（顔面・首・後頭部・腹部）を守ってください。

(3) クマを集落周辺に寄せ付けないためには

- ・生ゴミを田畠に捨てないようにします。
- ・クマを誘因する恐れのある果樹の実を残さず採取しましょう。（柿、栗など）
- ・果樹園、養蜂場、養魚場では、クマの被害が発生しやすいので、電気柵を設置しましょう。
- ・利用している果樹は、トタンの巻き付けなどの防除をします。
- ・利用しない果樹（柿、栗など）であれば伐採しましょう。

4 岐阜県クママップについて

- ・県ホームページでクマの目撃情報（クママップ）が確認できます。

※クママップをご覧ください。

<https://gis-gifu.jp/gifu/Map?mid=10538&mpx=137.34617827817775&mpy=36.16092613370731&mps=200000&mtp=dm&gprj=3>

- ・クマの目撃情報は、お近くの市町村、岐阜地域環境室又は県事務所環境課へご連絡ください。